

テーマ 「森のめぐみとクールジャパン」

演題

講師

「東京オリンピック2020とFSC」 FSCジャパン事務局オリンピック担当

岩瀬 泰徳 氏

「海外に羽ばたく越前和紙」

福井県和紙工業協同組合 理事長 石川製紙株式会社代表取締役社長
 全国手すき和紙連合会 副会長 (公)福井産業支援センター 評議員

石川 浩 氏

会場 三菱製紙本社 (両国シティコア11F 会議室1,2-1,2-2,3,4-1,4-2)



「講演に聞き入る聴講者（本社会場）」



「板倉エコアカ校長による講師紹介」



「オリンピックでの原料調達について語る岩瀬様」



「越前和紙について語る石川様」

| | | |
|-----|--------|---------|
| 聴講者 | 総数 | 約 210 名 |
| | 本社本館 | 約 150 名 |
| | ・ 得意先等 | 50 名 |
| | ・ 従業員 | 約 100 名 |

| | |
|-------|------|
| TV会議 | 61 名 |
| 高砂 | 13 名 |
| 京都 | 13 名 |
| 八戸 | 16 名 |
| 北上 | 14 名 |
| 白河 | 5 名 |
| KJ特殊紙 | |

【講師へのお礼状 ～意見等～】

・ 今回の環境セミナーでは、エコシステムアカデミーのキーワードである「森のめぐみ」をクールジャパンとして海外発信することをテーマとして、今注目を浴びている「東京オリンピック」と「和紙」を題材に、お二方にご講演いただきました。持続可能な循環型資源である森のめぐみを、日本を代表するイベントや文化の中で過去から繋がるものとして引き継ぎ、課題を克服しながら発展させ未来へと送り出していく、日本のすばらしさを改めて認識することができました。本当にありがとうございました。

○ 岩瀬 泰徳 様 「東京オリンピック2020とFSC」
 合法性と持続可能性を満たすFSCを原料調達基準としてきたロンドン、リオデジャネイロに続く、世界が注目する東京オリンピック2020を題材として、過去のオリンピックではFSCがどのように使われたのか、東京に向けてはどのような状況なのかについて、最先端のお話を聞かせていただきました。

○ 石川 浩 様 「世界に羽ばたく越前和紙」
 日本の伝統文化である和紙、その起源でもある越前和紙について誕生から現代に至るまでの過程について歴史上のエピソードを交えたお話、更には、伝統を引き継ぎつつも現代の新たなニーズに合わせた商品開発のお話、和紙のことを改めて知るとともに、非常に興味深く聞かせていただきました。